

令和5年度 究める課題研究発表会 in KOMATSU

石川県立小松高等学校
SSH企画推進室

1. 目的

- ・口頭発表会において、小・中・高校生が探究活動の成果を発表し、様々な年代の児童・生徒と質疑応答を行うことで、科学的・論理的にプレゼンテーションを行う能力を育成する。
- ・小・中・高校生が多くの参加者にポスターによるプレゼンテーションを行い、直接コミュニケーションを図る機会を増やすことで、聞き手に合わせたプレゼンテーションを行う能力を育成するとともに、多角的視野を獲得する機会とする。また、本校がⅡ期目から科学交流を行っている韓国大田科学高校生とともにポスター発表をすることで、英語でポスターセッションを行うことで、普段学習している英語を活用する機会とする。

2. 日時

第1回 11月3日(金・祝)

第2回 3月17日(日)

3. 実施場所

第1回 小松高校視聴覚室

第2回 サイエンスヒルズこまつ

4. 参加者

小松高校1、2年生、県内小・中学生、県内外の高校生、韓国大田科学高校生

5. 実施内容

(1) 口頭発表会(11月3日(祝・金))

【午前の部】；中学生による探究活動発表 10:25~12:05

・講評は本校の教員が行う。

【午後の部】；県内高校の生徒による課題研究発表、本校生徒による課題研究発表

12:50~16:10

・講評は本校の「こまつ研究サポートプログラム」のメンバーである大学の先生方からいただく。

・課題研究の評価は本校の探究活動の評価方法で行う。

(2) ポスター発表会(3月17日(日))

【午前の部】；ポスター発表会、韓国大田科学高校によるオンライン発表

・小・中学生はポスターセッションにより高校生から研究についてのアドバイスをもらう。

・高校生はポスターセッションにより交流を行う。

・韓国の高校生と英語による質疑応答を行う。(小・中学生には本校生徒が英語による会話の補助を行う)

【午後の部】；ワークショップ

・研究発表を行った生徒については、自身の研究について、本校生徒とサイエンスクルーの新たな提案により実験や議論をすることで研究をより究める。

・研究発表を行わなかった生徒については、本校生徒が発表した研究について、実験や議論をすることで研究をより究める。

担 当

石川県立小松高等学校

SSH企画推進室

政浦 嘉恵

Tel;0761-22-3250

Email;yozama11@ishikawa-c.ed.jp

令和5年度 究める課題研究発表会 in KOMATSU 第1回

1. 目的

口頭発表会において、小・中・高校生が探究活動の成果を発表し、様々な年代の児童・生徒と質疑応答を行うことで、科学的・論理的にプレゼンテーションを行う能力を育成する。

2. 日時

11月3日(金・祝)

中学生の部;10:25~12:05

高校生の部;12:50~16:10

オンライン・オンデマンド配信;10:25~12:05、12:50~16:10

3. 実施場所

小松高校視聴覚室

4. 参加者

小松高校 1, 2 年生、県内中学生、県内外の高校生

5. 実施内容

口頭発表会

【午前の部】；中学生による探究活動発表 10:25~12:05

・講評は本校の教員が行う。

【午後の部】；県内高校の生徒による課題研究発表、

本校生徒による課題研究発表

12:50~16:10

・講評は本校の「こまつ研究サポートプログラム」のメンバーである大学の先生方からいただく。

・課題研究の評価は本校の探究活動の評価方法で行う。

6. その他

- ・オンライン視聴希望の方は事前申し込みをお願いします(後日 URL など詳細をご連絡いたします)。
- ・会場への参観申し込みは不要です。
- ・参観のみの参加も可能です。

担 当

石川県立小松高等学校

SSH企画推進室

政浦 嘉恵

Tel;0761-22-3250

Email;yozama11@ishikawa-c.ed.jp